

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		(特になし)										
事務事業の評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	5 施策の目的を果たすために必要不可欠な事業である。 4 概ね、施策の目的に沿った事業である。 3 この事業では施策の目的を果たすことができない。 2 社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。 1 社会情勢に概ね適合する。又は、行政管理上、概ね妥当である。	5	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	S	事業成果・工夫した点	普通徴収の被保険者に対し、引き続き制度説明のチラシ配布や窓口で丁寧な説明を行い、制度理解や納付意識の向上が図られた。 また、新型コロナの影響により収入が減少した被保険者に対し、減免措置を実施し、負担軽減に寄与した。				
			5 社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。 4 社会情勢に概ね適合する。又は、行政管理上、概ね妥当である。 3 社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。 2 市が積極的に関与・実施すべき事業である。 1 今とこの市の関与・実施は妥当と判断できる。	5								
			5 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。 4 市民生活や行政内部の課題解決になっていない。 3 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。 2 今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。 1 目的は十分達成されており、事業継続の必要性は低い。	4								
		有効性	5 施策推進への貢献は多大である。 4 施策推進に向け、効果を認めることができる。 3 施策推進につながっていない。 2 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。 1 最適な手段であるが、更に民活、他事業との統合・連携等の検討の余地がある。	4					合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	事業の苦勞した点・課題	口座振替納付の勧奨文書の封入や滞納者に対する納付相談を継続しているが、徴収率の向上に繋がる程の成果はない。
			5 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。 4 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。 3 満足する成果にも達せず、まだまだ事業費・人件費の削減余地がある。 2 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認める。 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しが必要である。	4								
			5 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の検討の余地がある。 4 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しが必要である。 3 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しが必要である。 2 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しが必要である。 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しが必要である。	5								
	一次判定 (所属長)	妥当性	5 施策の目的を果たすために必要不可欠な事業である。 4 概ね、施策の目的に沿った事業である。 3 この事業では施策の目的を果たすことができない。 2 社会情勢等のニーズに合致する。又は、行政管理上必要な事業である。 1 社会情勢に概ね適合する。又は、行政管理上、概ね妥当である。	5	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	S	事業の方向性	■ 事業継続と判断する。 <input type="checkbox"/> 事業縮小と判断する <input type="checkbox"/> 事業廃止と判断する (判断の理由) 介護保険法に基づき、制度を維持継続していくうえで、不可欠な事業である。				
			5 社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。 4 社会情勢に概ね適合する。又は、行政管理上、概ね妥当である。 3 社会情勢又は行政管理事務に対応しておらず、見直しが必要である。 2 市が積極的に関与・実施すべき事業である。 1 今とこの市の関与・実施は妥当と判断できる。	5								
			5 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。 4 市民生活や行政内部の課題解決になっていない。 3 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。 2 今後、成果の向上が期待でき、事業継続の必要がある。 1 目的は十分達成されており、事業継続の必要性は低い。	4								
		有効性	5 施策推進への貢献は多大である。 4 施策推進に向け、効果を認めることができる。 3 施策推進につながっていない。 2 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。 1 最適な手段であるが、更に民活、他事業との統合・連携等の検討の余地がある。	5					合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	S		
			5 投入コスト以上の成果を得ており、コスト削減の余地は見当たらない。 4 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。 3 満足する成果にも達せず、まだまだ事業費・人件費の削減余地がある。 2 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民の負担は適正と認める。 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しが必要である。	4								
			5 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の検討の余地がある。 4 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しが必要である。 3 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しが必要である。 2 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しが必要である。 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しが必要である。	4								
効率性	5 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しが必要である。 4 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しが必要である。 3 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しが必要である。 2 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しが必要である。 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担の見直しが必要である。	4	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	A	所屬長の課題認識	介護保険法に基づき、制度を維持継続していくうえで、不可欠な事業であるので、引き続き徴収率向上に向けた取り組みが必要である。						

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
		<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。	

行政評価委員会の答申	外部評価	答申の内容
<div style="border: 1px solid black; height: 100px;"></div>		

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断会議	事業の方向性		コメント欄
	<input type="checkbox"/>	さらに重点化する。	
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状のまま継続する。	
	<input type="checkbox"/>	見直しの上、継続する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。	
	<input type="checkbox"/>	事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	